

平成 23 年度事業計画書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

【基本方針】

わが国における高度経済成長期以降、日本のみならず世界も大きく変化し、時代ごとに新しいニーズに対応すべく、次の段階へ進む時を迎えている。

消費の低迷、商業（社会）に関わる環境の変化、「まち」との関わり合いに関し、人々の生活に基づき、新たなる段階への変化も求められている。

新たなパラダイムが重要視される環境下にあつて、今年はさらに多面的な視野が求められるとの認識のもと、当連合会はさらに、商業施設技術の向上を追求し、社会が求める需要に応えるべく公益的活動を強化し、次の時代の技術者の育成に努める。

また、今後のビジョンを確立し、商業施設技術の普及に努めることとしたい。

本年度は上記の目的のもとに以下の事業を推進する。

重ねて、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴い、本年度はこの未曾有の災害からの復旧、復興を目指す重要な年であることは言うまでもなく、当連合会としては、安全なまちづくり、暮らしの環境を考えるまちづくりなど、これからの商業施設技術者が携わるであろう商業施設づくりやまちづくりを、さまざまな方面と立場でサポートできるように取り組むことを目標としたい。

- I. 公益法人制度改革にともなう公益社団法人の移行認定に関する活動
- II. 会員相互の連携と組織の拡充
- III. 商業施設士資格者の認定等に関わる事業
- IV. 商業施設士補の教育・認定等に関わる事業
- V. 地域商業、各自治体等からの助言要請への協力
- VI. その他商業施設技術に関連する事業

I. 公益法人改革にともなう公益社団法人の移行認定に関する活動

「公益法人制度改革」(平成20年12月施行)にともない、本会では公益社団法人への移行認定に関し、本年度においては、公益社団法人への申請を目標に各種資料作成、整備および作成を行っていく。

II. 会員相互の連携と組織の拡充

1. 会員との情報交流

本年度においても引き続き、商業施設、サービス、情報、など商業に関わる団体・組織を新たに会員として迎え入れ、連合会としての商業施設技術の向上に叶う機能の充実を図ると共に、会員相互の情報交流を密にして目的の共有と協同化を進める。

2. 組織の拡充・確立

本会組織の基盤となる、団体会員及び賛助会員の増強を目指す。

これは、商業施設士(補)資格者と団体会員及び賛助会員との交流により、社会における商業施設士(補)の社会的認知向上と必要性、また商施連と各団体・賛助会員の連携を持って、商業施設及び商業施設技術の業界の発展と価値を高めていくことを目指す。

また、公益法人改革にともない、当連合会内の委員会を検討し、整備することとする。

III. 商業施設士資格者の認定等に関わる事業

1. 商業施設士資格試験の実施

本年度の試験については、次のとおり開催する。

- ① 実施要領発表 平成23年2月
- ② 試験日 平成23年7月24日(日)
- ③ 実施地 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- ④ 合否発表 平成23年8月下旬

本年度は、受験者の更なる増加を目指すことに努める。

2. 商業施設士登録更新の実施

商業施設士の登録更新の要件については、本年度においても、情報誌「商業施設」の定期購読を原則とすることとし、同誌のさらなる内容充実を図り、登録更新対象者及び全資格者の知識の向上を高めてもらうとともに、引き続き同制度の告知等により、周知徹底を図ることとする。

3. 商業施設士 上位資格「マイスター商業施設士」「シニア商業施設士」の推進

商業施設士 上位資格制度「マイスター商業施設士」「シニア商業施設士」については、本年度においても引き続き、いっそう強力にこれを推進することとする。

4. 登録事務の実施

商業施設士資格試験の合格者、登録更新者（マイスター、シニアを含む）、及び商業施設士補資格講習会修了者については、資格登録に係る諸事務手続きを速やかに処理し登録証を発行するとともに、資格の社会的認知のための広報告知など方策を検討する。

5. 商業施設士資格試験 受験対策講座の実施

商業施設士資格試験 受験者の学習を補完するため、「学科試験」「構想表現試験」の対策講座を開講する。

また、商業施設士補取得者の構想表現試験（図案表現）の対策講座の開講希望が増え、申し込みが一定数に達した場合、地域ごと、または学校単位で随時開催する。

6. 商業施設士資格試験・教本（過去問解説書）の公表

商業施設士資格試験を受験する際の、受験者必須教本となっている、過去問解説書については、試験実施後、本年度分（23年度分）の内容をホームページ内にて掲載することとする。

7. 商業施設技術に関わる総合的技術書の改訂・編纂

商業施設技術の基本教書「商業施設・創造とデザイン」は、2000年の基本的改訂発刊以来、時代に則するため4度の改訂を重ねてきたが、常に変化する社会のニーズと技術の進化をふまえて、来年度に新版を発刊すべく編纂する。

8. 商業施設技術に関する情報誌「商業施設」の発刊、配布事業

本年度も昨年度に引き続き、誌面編集を一新しつつ、常に新しい情報と内容の幅の拡大、充実に努め配布先の開拓に努める。

9. ホームページによる情報提供事業

昨年度に引き続き、ホームページによる情報機能の充実に努める。ネットコミュニケーション機能のグレードアップを目指す。

IV. 商業施設士補の教育・認定等に関わる事業

1. 商業施設士補の認定セミナーの実施

商業施設士の予備軍としての位置付けである商業施設士補の本年度の認定を1,600名を目標とし、低調な地域の強化に努める。開催時期は、前期として平成23年10月期、後期

として平成24年2月期に行うよう進める。

2. 大学、専門学校との協力

学校との連携を密にし、教育・啓蒙に努める。本年度においては、昨年度に引き続き、商業施設関連業界の会社情報（求人情報、インターンシップなどを含む）の公開を行い、さらなる商業施設技術業界への関心を深めてもらうことを狙う。

3. 主張する「みせ」デザインコンペの実施

第9回を迎える、「主張する「みせ」デザインコンペ」は、例年と同じテーマ、趣旨で実施の予定であるが、学生の意欲をさらに高めるために、作品の発表に関しメディア使用の拡大と社会性の向上に努める。

V. 地域商業、各自治体等からの助言要請への協力

商店街振興、まちづくり、マーケティング指導、その他地域商業と生活環境の向上・活性化についての指導要請に適切な技術者の選定、紹介をすることによって、地域の活性化に貢献する。

VI. その他商業施設技術に関連する事業

商業施設技術に関連する会員、関係機関が行う社会的、公益的イベント・事業等への協力・後援や、商業施設技術に関係する諸団体との交流を通じて商業活動の健全な発展及び地域の生活向上のために協力する。